

第 1 回郡山市上下水道事業経営審議会 議事概要

日 時	令和 4 年 5 月 16 日 (月) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
場 所	郡山市上下水道局 3 階 特別会議室 (オンライン併用)
出席者	<p>【委員：11 名】 中野和典会長、小林裕子副会長、伊藤江梨委員、齋藤勉委員、竹谷金浩委員、玉野井晃委員、藤沼祥子委員、満田仁一委員、宮島登喜子委員 (オンライン) 伊藤清正委員、太田善雄委員、 ※欠席者：大槻礼子委員、松葉俊哉委員</p> <p>【事務局：16 名】 野崎上下水道事業管理者 外</p>

1 開会	
事務局	第 1 回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
会 長	「上下水道事業経営について」諮問を受け、自由に閣達にご意見いただき、円滑に審議会が進められることを期待する。
3 上下水道事業管理者あいさつ	
管理者	今後 2 年間の審議会委員の承諾について感謝する。上下水道事業を取り巻く状況が年々厳しくなっていく中で、さまざまな観点からの提言をお願いしたい。
4 事務局紹介	
事務局	【参考資料 1 郡山市上下水道事業経営審議会 事務局名簿】説明 なお、時間短縮のため、挨拶は事務局名簿に代えさせていただく。
5 審議	
事務局	欠席した委員は 2 名。郡山市上下水道事業経営審議会条例第 5 条第 2 項により、出席者が過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	本日の傍聴希望者はいるか？
事務局	本日の傍聴希望者はいない。
① 「郡山市上下水道事業経営審議会開催スケジュール (予定)」について	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【参考資料 2 郡山市上下水道事業経営審議会開催スケジュール (予定)】について説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委員一同	なし。
② 「郡山市上下水道事業の概要について」	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料 1 郡山市上下水道事業の概要について】説明

議 長	委員からの意見等は最後にまとめてお願いしたい。
③ 「令和4年度上下水道局当初予算について」	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料2】令和4年度上下水道局当初予算について】説明
④ 「その他」	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料3】上下水道局に係る包括外部監査の結果について】説明
4 その他	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	第2回審議会のスケジュールについては、8月開催を念頭に相談の上、決定したい。
議 長	委員から質問等あればお願いしたい。
委 員	諮問の中にも広域化という話があったが、下水道についての話であるのか。都道府県構想の見直しや整備区域の適切な見直しのような国の流れと同様、県中処理区域が広がるという話なのか、流れを確認したい。
事務局	広域化については、上水道、下水道の両方のプランを県単位で作成すべきということです。どのような広域化がよいのかは、現在県の方で各市町村に聞き取り調査をしながら模索しており、ある程度形になった段階で委員の皆様を示したい。
委 員	県が主導ということは、県中浄化センターが広がるという話になるのか。
事務局	例えば、県中浄化センターの処理区を広げる、薬剤を区域内でまとめて安く買う及び維持管理もまとめて契約できれば安くできるのでは、等試算している途中である。
委 員	了解した。
委 員	郡山市の水道料金は適正なのかどうか確認したい。
事務局	今後の審議会で、水道料金が何に使用され、今の料金が適正かどうかの判断をいただく。
委 員	これまで市民から郡山の水道料金が安いという話はなかったか。
事務局	局で行っている出前講座等で市の面積などの地域の事情も含めて話をされることはあり、随時水道料金の説明は行っている。
委 員	了解した。
議 長	料金については、2年間の審議会の中で上水道と下水道を理解していただき、実際どういう事業が行われているのかを踏まえた上で、後半に検討する予定である。
事務局	料金の半分は運営に、残りの半分は管の更新費用に充てているが、管の更新費用を含めた上で適正な料金設定をしないと、後々の水道事業に影響することとなる。
委 員	6月の上下水道週間にイベント等で市民に広めるのが良いと考える。
委 員	【資料2】について、支出については網羅されているようだが、収入については不明である。記載の足りない収入部分はどこに記載されているのか。
事務局	【資料2】は支出ベースの資料であり、収入については料金・使用料、一般会計からの繰入金のみ記載である。
委 員	予算の説明は今回初めてであるが、郡山市が経営する企業であるならば、収入についてもはっきり記載するべきでは。水道料金は前年比プラスで下水道料金がマイナスになっているのはどのような要因か。
事務局	水道料金収入は、新築世帯の増加により増収を予測しており、下水道料金収入は、有収水量が減少していくことで減収を予測して計上している。
委 員	新築世帯の増加とは世帯数が増えるイメージでよいか。

事務局	給水戸数が増加するイメージである。
委員	了解した。
管理者	資料2だけだと支出中心の資料なので、次回は全体像として収入と支出を対比した資料を示したいと考えている。
議長	資料に記載されているように、人口減少による増加部分と減少部分があるが、減少部分について今回あまり触れなかった。本日の諮問で、人口減少に対してどう合理的に機能を維持し、また増やすかを新たな委員と共に検討していく。 委員から質問等あればお願いしたい。
委員	水道に比べ、下水道は拡張から維持管理へというマインドが明確に出されていない。人口減少の中で、面整備もやっていくのは大丈夫なのか、方向性を確認したい。
管理者	水道は普及率が96%を超え、ほぼ全世帯にいきわたっているが、下水道は人口減少の時代にあっても、普及率が追いついておらず、国の目標に合わせて計画をたてているものの、面整備はもうしばらく進めていくべきと認識している。下水道をどうしていくかという事柄についても、今後の審議会で議論をお願いしたい。
議長	委員から質問が無いのであれば終了する。
5 閉会	
事務局	以上をもって、第1回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。